

体外受精ってどんな治療なの？
費用がかかりそう…イメージだけで思い留まっていますか？
積極的に体外受精を考えているだけでなく、
治療の今後の見通しを立てておきたい方、
結果がなかなか出なくて困っている方など、お気軽に受講してみてください。

扇町ARTレディースクリニック5階待合にて開催
受講料無料

<https://www.olc.ne.jp/contact/>

06-6311-2511

ご予約はこちらから→



体外受精 セミナーのご案内

2月15日(土)
15:00~



子宮内の細菌バランスが、妊娠に関係することが言われ始めています。悪玉菌が多い状態の子宮では、妊娠率が低く、流産率が高くなり、早産のリスクが高まります。検査を受けて、妊娠に適している状態なのか調べてみませんか？

子宮内膜には着床窓という、受精卵が着床しやすい時期があります。一般的には排卵日から5-7日目に、着床窓が開いていると考えられていますが、この着床窓が開いている時期が個人によって異なる可能性があるということが最近の研究で分かってきました。その着床窓が開いている時期を特定することができるのがERA検査です。

ERA Endometrial Receptivity Analysis
子宮内膜着床能検査

igenomix PROTOCOLS IN REPRODUCTIVE GENETICS

着床する時期が明らかに

今日の周期で検査し、解析結果が受容期 (Receptive) の場合、次の同条件サイクルでの胚移植を推奨します。従って、胚の着床に理想的な日ということになります。

Embryo D-3 → Embryo D-5

Day3頃の着床のタイミング → Customized Management → Day5頃の着床のタイミング

子宮内膜 受容期前 Day 3-5 受容期 Day 5-7 受容期後

排卵相当日 (黄体ホルモン開始日)

黄体期5日目頃 “着床の窓”

この日の子宮内膜を検査

内臓が「受容期」であるか判定する

子宮内膜に“着床の窓”がある時期を選んで “個別化された胚移植”

詳しくは、資料末尾の「よくある質問と回答」を参照下さい。